

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 城平 守朗

0858-75-6600

閲覧資料

- 定 款（2019年6月5日現在）…………… 1P～4P
- 役員名簿（2019年6月5日現在）…………… 5P
- 事業報告（2018年度分）…………… 6P～10P
- 貸借対照表（2018年度分）…………… 11P
- 損益計算書（2018年度分）…………… 11P
- 株主資本等変動計算書（2018年度分）…………… 12P

○定 款

第1章 総 則

(商号)

第1条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第2条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第3条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第4条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第2章 株 式

(発行する株式の総数)

第5条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式1株の金額)

第6条 当社の発行する額面株式の1株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第7条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1株券、10株券及び100株券の3種類とする。

(株式の譲渡制限)

第8条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければならない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで

株主名簿の記載の変更を停止する。

- 2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

- 2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

- 2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。
- 3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

- 2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。
- 3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当会社が取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当会社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当会社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選出した場合においては、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2019年6月5日現在)

| | | | |
|---------|---------------------|-----|--------------------|
| 取締役会長 | ひらい しんじ 平井 伸治 | 取締役 | はぎわら せいじ 萩原 誠司 |
| 取締役副会長 | あらかい かずあき 荒木 一聡 | | あんざこ のりあき 庵途 典章 |
| | きくち よしのぶ 菊池 善信 | | とみやま ゆたか 遠山 寛 |
| 代表取締役社長 | じょうひら もりあき 城平 守朗 | | すぎはら のぶはる 杉原 伸治 |
| 代表取締役常務 | まつもと しゅんいち 松本 俊一 | | おのざわ ひろなり 小野澤弘成 |
| 取締役 | ふかざわ よしひこ 深澤 義彦 | 監査役 | まるやま あきのり 丸山 明則 |
| | よしだ ひでと 吉田 英人 | | |
| | てらたにせいいちろう 寺谷誠一郎 | | いしだこうたろう 石田耕太郎 |
| | あおき ひでき 青木 秀樹 | | ふくい ますみ 福井 真澄 |

○第33期（2018年度）事業報告

I. 営業の概況

1 営業の概要及び成果

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

特急列車の利用状況は、6月の大阪府北部地震による観光旅行取り止めやインバウンドの訪日観光中止等の影響、「平成30年7月豪雨」や8月～9月にかけての台風接近等に伴う列車の運転休止の影響、昨年度11月に開催されたポケモンGOイベントの反動による影響等により、列車別では、「スーパーはくと」が前期比4.2%減の611,856人、「スーパーいなば」は前期比6.2%減の248,227人となり、特急列車全体では前期比4.8%減の860,083人となり、鳥取県中部地震が発生した2016年度を下回り、過去3年で最も低い乗車人員となりました。

普通列車は、通勤・通学定期者の増加や智頭線内独自の企画きっぷ等の効果もあり前期比4.3%増の283,830人となりました。

収入につきましては、豪雨災害に伴う特急列車の運転休止の影響などにより、旅客運輸収入は前期比5.7%の減、運輸雑収入は前期比1.6%の減となり、営業収益は前期比3.6%（101百万円）減の2,693百万円となりました。

費用につきましては、「平成30年7月豪雨」による大幅な収入減が見込まれた中で、原油価格の上昇に伴う動力費の増加や人件費の増加が見込まれたことなどから、費用の削減を図るため、修繕費、広告費をはじめとする今年度予定していた費用全体の先送り等を行うことにより、営業費用を前期比0.8%（20百万円）減の2,561百万円に抑えました。

この結果、当期の営業利益につきましては前期比38.1%（81百万円）減の132百万円、経常利益につきましては前期比19.2%（38百万円）減の160百万円となり、減収減益となりました。

(1) 列車利用状況（利用状況は車掌調べによる人数） (単位：人、%)

| 区分 | 当期 | 前期 | 増減数 | 前期比 | 主な要因 |
|---------|---------|---------|---------|-------|--|
| スーパーはくと | 611,856 | 638,622 | △26,766 | 95.8 | 大阪府北部地震の影響、平成30年7月豪雨、台風等による列車の運転休止の影響等により前年を下回った |
| スーパーいなば | 248,227 | 264,701 | △16,474 | 93.8 | |
| 特急列車計 | 860,083 | 903,323 | △43,240 | 95.2 | |
| 普通列車 | 283,830 | 272,030 | 11,800 | 104.3 | 通勤・通学定期による増等 |

(2) 収支状況 (単位：千円、%)

| 区分 | 当期 | 前期 | 増減額 | 前期比 | 主な要因 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|---------|-------|------------|
| 主な収入 | 旅客運輸収入 | 1,313,630 | 1,392,468 | △78,838 | 94.3 | 乗車人員の減 |
| | 運輸雑収入 | 1,379,681 | 1,401,577 | △21,896 | 98.4 | 受取車両使用料の減 |
| 営業収益計 | 2,693,311 | 2,794,045 | △100,734 | 96.4 | | |
| 主な費用 | 修繕費 | 869,302 | 948,005 | △78,703 | 91.7 | 工事先送り等による減 |
| | 動力費 | 319,225 | 260,498 | 58,727 | 122.5 | 原油価格の増 |
| | 減価償却費 | 435,650 | 438,389 | △2,739 | 99.4 | |
| 営業費用計 | 2,561,406 | 2,581,003 | △19,597 | 99.2 | | |
| 営業利益 | 131,905 | 213,042 | △81,137 | 61.9 | | |
| 経常利益 | 159,702 | 197,545 | △37,843 | 80.8 | | |

(3) ダイヤ改正の実施

2019年春のダイヤ改正を3月16日に実施し、上郡発智頭行の普通列車の出発時間を繰り上げ、佐用駅での姫新線接続の改善を行いました。また恋山形駅への列車利用促進を目的として、土日及び休日等に上り・下りの普通列車各1本計2本を恋山形駅に25分間停車させることとしました。

(4) 安全対策等の実施状況

安全対策につきましては、経営トップと現場が一体となって安全を最優先とする企業風土の構築に向けて安全を更に確かなものとするため、社員一人ひとりが、自らの役割・使命を自覚し、関係法令等の理解と遵守を深めました。鉄道固有の知識、技術・技能の維持・向上を図るため、外部研修等の受講並びに社内における年間を通じた教育計画に基づく勉強会、異常時対応訓練等の実施及びJR、警察署、消防署との合同の異常時対応訓練の実施を行いました。

また、経年老朽化が進む施設設備及び車両については、変更後の中期経営計画(2014～2018)の投資・修繕計画に沿った修繕及び更新を実施して安全で快適な乗り心地の提供に取り組みました。

〔主な修繕の状況〕

| 主な工事 | | 金額 | 補助事業 |
|------|------------------|-----------|------|
| 線路 | 高架橋修繕工事(小股高架橋) | 43,700千円 | 補 |
| | 高架橋修繕工事(第3宗行高架橋) | 26,878千円 | |
| | レール更換(大原～智頭間) | 16,549千円 | |
| 小計 | | 87,127千円 | |
| 電路 | 平福・大原間通信ケーブル修繕 | 14,200千円 | |
| | 小計 | 14,200千円 | |
| 車両 | 鉄道車両の検査費用及び修繕 | 684,152千円 | |
| | 小計 | 684,152千円 | |
| 合計 | | 785,479千円 | |

〔主な設備投資の状況〕

| 主な工事 | | 金額 | 補助事業 |
|------|-----------------------------------|-----------|------|
| 線路 | 佐用・石井間落石防護柵新設 | 67,530千円 | 補 |
| | 小計 | 67,530千円 | |
| 電路 | 自動列車停止装置更新(智頭駅) | 43,891千円 | 補 |
| | 小計 | 43,891千円 | |
| 車両 | エンジン(特急14台、普通1台)、 液体変速機(普通1台)他 | 82,350千円 | |
| | 冷房装置更新(特急6両) | 124,018千円 | |
| | 行先・号車表示器更新(特急34両) | 33,829千円 | |
| | 小計 | 240,197千円 | |
| 合計 | | 351,618千円 | |

(5) 企画きっぷの発売状況

JR西日本と共同の企画きっぷとして発売している「かにカニ日帰りエクスプレス」の利用促進を図るため、従前から行っているご利用のお客様へ日本海の干物セットをプレゼントする企画を実施しました。

智頭急行独自の企画きっぷとしまして、定期券と同時に使用できます「定期券用自由席回数特急券」は前期比0.8%減とほぼ前年並み、2017年7月から発売された普通乗車券・普通回数券と同時に使用できます「自由席回数特急券」は今年度から通年発売しております。

普通列車につきましては、利用者拡大に向けて駅窓口等での広報・宣伝に努めてまい

りました。普通列車の車内でも発売しています「智頭線1日フリーきっぷ」は前期比5.1%増のご利用があり、シニア向け「楽ラクきっぷ」は3.9%増、運転免許返納者向け「優ユウきっぷ」は1.6%の減とほぼ前年並み、2人で利用する「普通列車ペアきっぷ」は27.2%増のご利用がありました。また、引き続き「あまつぼし」による貸切団体利用の促進(前年の10件から21件に増加)や観光バスと連携した「ちょい乗り」の促進などによる利用者の増加を図りました。

ア. 特急列車関係

| 商品名 | 発売枚数 (前年比) | 利用期間 | 販売額 | 付記 |
|--------------|-----------------|------|---------------------------------|------------------------------------|
| 定期券用自由席回数特急券 | 761冊 (99.2%) | 通年 | 自由席特急券420円を1枚200円 5枚綴り1,000円 | 定期券をご利用のお客様 |
| 自由席回数特急券 | 128冊 (-) | 通年 | 自由席特急券420円を1枚300円 5枚綴り1,500円 | 普通乗車券・普通回数券をご利用のお客様 2017年7月から発売 |

イ. 普通列車関係

| 商品名 | 発売枚数 (前年比) | 利用期間 | 販売額 | 付記 |
|-------------|--------------------|---|-------------------------|--|
| 智頭線1日フリーきっぷ | 7,869枚 (105.1%) | 土休日 及び 7/1～9/30 12/10～1/10 3/1～4/10 | 大人 1,200円 小児 600円 | 普通列車に限り1日乗り放題 (自由席特急券購入により特急列車利用可) |
| 普通列車ペアきっぷ | 711枚 (127.2%) | 通年 | 2名で2,000円 | 2名が同時に同一行程で使用 普通列車に限り2日乗り放題 (特急利用不可) |
| 特殊回数乗車券 | 65冊 (125.0%) | 通年 | 3,000円 (100円券・33枚綴り) | 普通列車に限り使用 |
| 楽ラクきっぷ | 106冊 (103.9%) | 通年 | 2,500円 (100円券・33枚綴り) | 70歳以上の方で普通列車に 限り使用 |
| 優ユウきっぷ | 63冊 (98.4%) | 通年 | 1,500円 (100円券・33枚綴り) | 運転免許証返納者の方で普 通列車に限り使用 |

(6) 利用促進に向けた広告宣伝等の実施状況

特急列車の利用促進につきましては、JR主要駅での広報宣伝看板の設置や、JR、自治体等と連携した京都、大阪、天王寺、三ノ宮、姫路、相生などの京阪神方面や岡山駅でのキャラバン・PR活動を実施し、多くのお客様に山陰方面の「かに」や「温泉」、「スーパーはくと」の魅力をPRしました。

また、7月～9月に開催された山陰DC(デスティネーションキャンペーン)や8月からの「がんばろう!西日本」キャンペーンに合わせて、便利でお得な「山陰めぐりパス」を発売し、スーパーはくとを利用した山陰への旅のPRの実施など、山陰への誘客に取り組んでまいりました。

普通列車につきましても、イベント列車「あまつぼし(天津星)」を使用し智頭急行社員がチームを作って企画・実施した「風鈴ビール列車」、「ハッピーハロウイントレイン」、「クリスマス列車」、「オリジナルデコチョコトレイン」などのイベント列車や、沿線自治体等と連携した「チーズエクスプレス」、「クリスマスcafé列車」、「郵便局の恋文列車」などの臨時列車の運行、更には利用促進や地域の活性化に資するよう、智頭急行社員がチームを作って企画した「レール&ウォーク」イベントを佐用駅～平福駅間で開催したり、智頭線利用促進協議会の補助を受けてスタンプラリーを実施したり、沿線のイベント等に参加してPR活動を行うなど、地域の皆さんに智頭線を知って、親しんで、乗っていただく取組みを進めました。

2 会社に対処すべき課題

- (1) 安全を最優先する企業風土の構築
- (2) 施設設備及び車両の経年老朽化対策
- (3) お客様のニーズに合ったサービスの提供
- (4) 地域社会との連携強化と地域の魅力創出
- (5) 収入の安定確保と効率経営による経営基盤の強化
- (6) コンプライアンスの強化による企業活動の健全化
- (7) 知識と技術・技能の向上と継承をめざした人材育成
- (8) 明るく働きがいのある職場環境づくり

3 営業成績及び財産状況の推移

| 区 分 | 第30期 | 第31期 | 第32期 | 第33期(今期) |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 営業収益(千円) | 2,777,428 | 2,749,888 | 2,794,045 | 2,693,311 |
| 当期純利益(千円) | 282,319 | 271,163 | 152,224 | 111,788 |
| 1株当り当期純利益(円) | 31,368.79 | 30,129.25 | 16,913.81 | 12,420.88 |
| 資産合計(千円) | 5,718,758 | 6,078,244 | 5,956,445 | 5,932,684 |

Ⅱ. 会社の概況（2019年3月31日現在）

1. 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2. 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3. 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 会社が発行する株式の総数 | 20,000株 |
| ② 発行済株式の総数（額面普通株式） | 9,000株 |
| ③ 1株の金額 | 50,000円 |
| ④ 株主総数 | 45名 |
| ⑤ 株主 | 別掲のとおり |

なお、当社の大株主への出資はありません。

4. 社員の状況

| | 社員数 (人) | 前期末比増減 (人) | 平均年齢 (歳) | 平均勤続年数 (年月) |
|-----|------------|---------------|-------------|----------------|
| 総務部 | 7 | 1 | 39.4 | 15年6ヶ月 |
| 運輸部 | 67 | 2 | 40.6 | 15年8ヶ月 |
| 合計 | 74 | 3 | 40.5 | 15年8ヶ月 |

※常勤役員（2人）、契約社員（6人）を除く

○貸借対照表

[2019年3月31日現在]

(単位：千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|--------|-----------|----------|-----------|
| 資産の部 | 5,932,684 | 負債の部 | 341,951 |
| 流動資産 | 3,435,774 | 流動負債 | 301,893 |
| 固定資産 | 2,492,607 | 固定負債 | 40,058 |
| 有形固定資産 | 2,466,260 | 純資産の部 | 5,590,733 |
| 無形固定資産 | 17,785 | 資本金 | 450,000 |
| 投資等 | 8,562 | 利益剰余金 | 5,140,733 |
| 繰延資産 | 4,303 | | |
| 資産合計 | 5,932,684 | 負債・純資産合計 | 5,932,684 |

○損益計算書

[2018年4月1日から2019年3月31日まで]

(単位：千円)

| 科目 | | 金額 |
|--------------------|----------|-----------|
| 経常 損益 の 部 | 鉄道事業営業利益 | |
| | 営業損益の部 | |
| | 営業収益 | 2,693,311 |
| | 営業費 | 2,561,406 |
| | 鉄道事業営業利益 | 131,905 |
| | 営業外損益の部 | |
| | 営業外収益 | 30,689 |
| | 営業外費用 | 2,892 |
| | 経常利益 | 159,702 |
| 特別 損益 の 部 | 特別利益 | |
| | 固定資産売却益 | 2 |
| | その他の特別利益 | 53,538 |
| | 特別損失 | |
| | 固定資産除去損 | 13,189 |
| | 固定資産圧縮損 | 38,571 |
| | 税引前当期利益 | 161,482 |
| | 法人税等 | 49,694 |
| | 当期純利益 | 111,788 |

○株主資本等変動計算書

[2018年4月1日から2019年3月31日まで]

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 株主資本 合計 | 純資産合計 |
|------------------------|---------|-------|-----------|---------------|-------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 利益剰余金 | | | | | |
| | | 利益準備金 | 別途積立金 | 固定資産圧縮 積立金 | 繰越 利益剰余金 | | |
| 前期末残高 | 450,000 | 2,700 | 2,700,000 | 2,170,000 | 156,245 | 5,478,945 | 5,478,945 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | |
| 剰余金の配当に伴う 利益剰余金の積立て | | | | | | | |
| 積立金の積立 | | | 20,000 | 130,000 | △150,000 | | |
| 当期純利益 | | | | | 111,788 | 111,788 | 111,788 |
| 当期変動額合計 | | | 20,000 | 130,000 | △38,212 | 111,788 | 111,788 |
| 当期末残高 | 450,000 | 2,700 | 2,720,000 | 2,300,000 | 118,033 | 5,590,733 | 5,590,733 |